

「食品に関するリスクコミュニケーション（福岡）」  
～日本における牛海綿状脳症（BSE）対策の検証に関する意見交換会～  
アンケートの集計結果

開催日：2004年10月6日（水）

参加者数：89名 回答数：39名（回答率43.8%）

問1 ご自身について、ご回答ください。

1) 消費者	8	20.5%
2) 農林水産業	0	0.0%
3) 食品関連事業者	6	15.4%
4) 食品関連団体	3	7.7%
5) 研究機関	4	10.2%
6) 行政関係	15	38.5%
7) マスコミ関係	0	0.0%
8) その他	3	7.7%

- ・ 食トレシステム構築中。システム標準化を早急に示してほしい。（1）
- ・ 生産者団体（1）
- ・ 学生（九州大学）（1）

問2 本日の意見交換会は、何からお知りになりましたか。

1) 食品安全委員会のホームページ	15	38.5%
2) 食品安全委員会からのご案内資料	9	23.1%
3) 関係団体からのご案内資料	11	28.2%
4) 知人からの紹介	5	12.8%
5) その他	2	5.1%

- ・ 新聞（1）
- ・ 無記入（1）

問3 今回の意見交換会全般について、どのようにお考えですか。

1) 評価する	19	48.6%
2) やや評価する	15	38.5%
3) あまり評価しない	1	2.6%
4) 評価しない	1	2.6%
5) 無回答	3	7.7%

評価理由

- ・ 大都市だけでなく、地方の中小都市や大都市の区役所ホールのようなところもいくつか選定して、リスクコミュニケーションをやってもらいたいと思

ます。消費者も多様です。今後、リスクコミュニケーションを開催する場合には、このようなことも配慮していただければありがたく存じます。

- ・ 一般消費者を参加させて意見を言うことが出来ればと思うが。
- ・ 開催の周知が不十分。
- ・ 用語説明等、説明が判りやすかったと思います（吉川先生）。
- ・ 時間的制約が厳しい。
- ・ 「BSE対策」というテーマで、今この時期に（アメリカからの政治的な要求に対する回答を迫られている）とりあげるのか。マスコミを通じて、うまく利用されているのではないのでしょうか。
- ・ 様々な立場の人の意見を聞くことができた。
- ・ 参加人数が少ないため、意見が十分に出たとは思えません。もっと人を集める手段を考えなくてはならないと思います。意見交換会の周知方法、集客方法に問題があるのでは。
- ・ 一般消費者にとっては分かりにくいものもあるのでは。と畜の方法等の説明もあれば、よりわかりやすくなるのでは。
- ・ 現時点でわかっていることとわかっていないことが明確にされてよかった。
- ・ それぞれの立場の人の考え方が理解できて良かった。食品に関する問題は科学的なもの（実証）だけではないこと、即ち、感情的な問題も多く、なかなか結論が出にくいと思う。ただ、本当に一般の消費者の意見もあって良いのではないかと感じた。
- ・ ただ、こういう会議があることすら充分に知られていない。情報発信不足の感がある。私は行政の立場にいるが、この会議を知ったのは2日前でした。
- ・ 生産者、販売業者等の生の声が聞けてよかった（特に、レンダリング業者、肥料について）。
- ・ はじめたばかりの取組みとして評価できるから。
- ・ こういう会に参加される方（一般の方）は多少なりと知識をお持ちですが、主婦等ほんとに一般の方へのRCが必要だと思いました。こういう会が地域の保健所レベル（数十人）でできれば...と思っています。
- ・ 冷静な説明、会場の意見に対する対応がよい。
- ・ きちんとした説明と資料があり、よかった。

問4 意見交換会に出席されてどのような感想を持たれましたか。あてはまるものはすべてご回答ください。

- |    |                             |    |       |
|----|-----------------------------|----|-------|
| 1) | 情報を公開していこうとする行政の姿勢がみられた     | 21 | 46.4% |
| 2) | BSE対策について理解が深まった            | 20 | 30.9% |
| 3) | 会場参加者と行政関係者との意見交換ができていて良かった | 13 | 51.5% |

4 )	意見交換というより一方通行の意見表明をする場になっていた	3	30.9%
5 )	行政関係者の話をもっと聞きたかった	3	5.2%
6 )	もっとわかりやすく簡単に解説してほしかった。(まだまだ難しく理解しにくい)	4	22.6%
7 )	講演の時間を十分とって背景なども含めて説明してほしい	6	19.6%
8 )	講演時間をもっと短くして会場参加者との意見交換の時間を多くとってほしい	3	19.6%
9 )	偏った意見が目立っていたように思う	1	19.6%
10 )	講演資料がわかりやすかった	4	19.6%
11 )	意見交換だけではなく、もっと内容について議論することが必要だ	4	19.6%
12 )	その他	2	19.6%
	・ 質疑応答はあったが、論議が深まったという感じはなかったと感じた。質問の出方というのもあると思いますが...		
	・ 講演(時間)を確保した上で、意見交換の時間もとって欲しい。		

問5 今回、食品安全委員会プリオン専門調査会では昨年の発足以来、日本のBSE対策について初めて科学的に検証し、その結果を「日本における牛海綿状脳症(BSE)対策について - 中間とりまとめ - 」としてとりまとめ、今後さらに検討を行っていくこととなりますが、この中間とりまとめを行ったことについてどのようにお考えですか？

1 )	評価する	21	53.8%
2 )	やや評価する	10	25.6%
3 )	あまり評価しない	3	7.7%
4 )	評価しない	1	2.6%
5 )	無回答	4	10.3%

評価理由

- ・ 政治に影響を与え、又権威を持つように、力をつけていただきたい。それまでは、評価の対象ではありません。権限も持てるよう前進していただきたい。

問6 本日のような意見交換会にこれまでどれくらい参加したことがありますか。

1) 今回が初めて	23	59.0%
2) これまでに1回	8	20.5%
3) これまでに2回以上	6	15.4%
4) 無回答	2	5.1%

附問6 - 1 問6で3)を選択した方にお伺いします。意見交換会のあり方や進め方は改善されてきていると思いますか。

1) 以前よりは改善されてきた	4	66.7%
2) 改善すべき点がある	2	33.3%

改善すべき点があるとしたらどのような点が具体的にお書きください。

- ・用語を聞きなれないものを多く使われるのは注意して欲しい。
- ・初回なので判断不可能です。
- ・消費者の立場からは、問題をしばると意見が出しにくい。
- ・もっと意見交換そのものの時間を確保して下さい。個人的には、13:00 ~ 17:00位の設定でも構いません。

問7 以下の食品安全委員会の取組みのうち、ご存知のものあるいは利用したことのあるものを全て選んでください。

1) 委員会、専門調査会の傍聴が可能なこと(原則公開されていること)	16	73.2%
2) 食品安全委員会ホームページ(委員会や意見交換会等の配布資料及び議事録、意見募集、リスク評価等)	29	41.0%
3) 食の安全ダイヤル	5	12.8%
4) 安全モニター	9	23.1%
5) 食品の安全性に関する用語集	5	12.8%
6) 品の安全性に関する政府広報	9	23.1%
7) その他	0	0.0%

附問7 - 1 上記で選択したものについて、御意見やご感想がございましたらご記入ください。

- ・インターネットの使用可能な消費者は、現在では一部の人にすぎない。正しい情報は社会全体へ。
- ・輸入食品監視に係る行政機関ですが、今日は年休+自費で参加させて頂きました(そうならざるを得ませんでした)。厚生労働省福岡検疫所検疫衛生・食品監視課長大村貴造でございます。
- ・オーストラリアの牛肉は安全なのですか。
- ・吉川先生の説明はわかりやすかった。
- ・国民に対するリスコミの必要をよりいっそう考慮して、数多く開催してほ

しい。

- ・ 今、6)を配布していただいてよかった。手に入れて他の人にも紹介したい。福岡でも開催していただきありがとうございます。主催は違うが、安全委員会、農水、厚生でスケジュールを調整してから日程を発表していただくと助かります。熊本であってすぐ福岡でしたので。